横浜天声キリスト教会　週報　第18巻8号(No.680)　2023年2月19日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ54:11-13 ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36番　あまつ御使いよ
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 35番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172番　雨をふりそそぎ
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：史執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 488番　くしき主の光
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・「いのちの時」に主は確かに帰って来る(創世記18:1-15)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 409番　渇(かわ)きあえぐわが魂は
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 今週はIMの働きのため、天声の働き人は留守がちになります。
次週主日は、二部英語礼拝をお休みとさせて頂きます。
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「子を産まなかった____よ、歌え。産みの苦しみをしなかった者よ、声を放って歌いよばわれ。夫のない者の子は、とついだ者の子よりも多い」と主は言われる。「____の天幕の場所を広くし、____のすまいの幕を張りひろげ、惜しむことなく、____の綱を長くし、____の杭を強固にせよ。____は右に左にひろがり、____の子孫はもろもろの国を獲、荒れすたれた町々をも住民で満たすからだ。恐れてはならない。____は恥じることがない。あわてふためいてはならない。____は、はずかしめられることがない。____は若い時の恥を忘れ、寡婦であった時のはずかしめを、再び思い出すことがない。____を造られた者は____の夫であって、その名は万軍の主。____をあがなわれる者は、イスラエルの聖者であって、全地の神ととなえられる。捨てられて心悲しむ妻、また若い時にとついで出された妻を招くように主は____を招かれた」と____の神は言われる。
「苦しみをうけ、嵐にもてあそばれ、慰めを得ない____よ、見よ、わたしはアンチモニーで____の石をすえ、サファイヤで____の基をおき、めのうで____の尖塔を造り、紅玉で____の門を造り、____の城壁をことごとく宝石で造る。____の子らはみな主に教をうけ、____の子らは大いに栄える。(イザヤ54:1-6,11-13)

メッセージ概要

リバイバルの時、リニューアルの時に主は確かに戻ってくる、と、主が繰り返し宣言された場面が、旧約にある。それは、アブラハムが旅人をもてなした場面、創世記18章だ。アブラハムには約束が与えられていた。主は彼の子孫をおびただしく増やし、多くの国民とし、王達が彼から生まれる、と。妻のサラに対しても、彼女は国々の母となり、国々の王達が彼女から生まれる、と。その時、アブラハムは99歳、サラは89歳。彼らの間には子はおらず、サラはその時、「女にある道(オラハ・カナシーム)」(18:11)は既に止まっていた。「女にある道」。月のものに限らず、子を生む力、乳で養う力、異性を惹きつける美しさ、慰めをもたらす力。それらが萎え果て、「もう自分には何の喜びもない、もう年寄りで」と言う以外に無い心境だった。主は、そんな彼女の心を「反転」させるため、信仰の確信を与えるために、旅人に身をやつして、やって来られた。

ある時、アブラハムが天幕の入り口に座っていると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼は見るなり、彼らを迎えるために走って行き、地にひれ伏し、礼をして言った。「お客様、よろしければ、どうか僕のもとを通り過ぎないでください。」(2-3節)　そして彼らの足を洗い、一人につき7.6リットルもの上等の小麦粉でパンを作るよう、サラに指示し、また、柔らかくておいしそうな子牛をほふってもてなし、彼自身は給仕した。
99歳の彼がそこまでするのは、驚きかもしれない。しかし、旅人にできうる限りの「おもてなし」をする事には、祝福がついてくる(ヘブル13:2)。主は、「日常」の中、時には盗人のように、思いがけない時に現れる。
アブラハムが給仕している時、彼らはアブラハムに尋ねた。「あなたの妻のサラはどこにいますか。」 妻に主から与えられたばかりの新しい名「サラ」を、見ず知らずの旅人から呼ばれたので、彼は驚いただろう。
しかし続く言葉は、もっと驚くものだった。『「**来年の春(エット・ハイ：命の時)**」、わたしは必ずあなたの所に帰ってきましょう。その時、あなたの妻サラには男の子が生れているでしょう。』(10節)　「エット・ハイ」は、私達に、とても重要である。エットの意味は、時、時期。ハイの意味は、辞書をみると「*1)生きている,命のある,青い,流れる,新鮮な,生き生きした,はつらつとした,(春の時期の)リバイブしている。　2)親族。　3)いのち,生命,生活,生計手段,生活維持。　4)生き物,いのち,食欲,再生,リバイバル,リニューアル。　5)共同体。*」
いのちの時。溌剌とした時。リバイバルの時。リニューアルの時。生き生きとした共同体の時。主は確かに帰って来る。その時、ため息や無気力は消え去り、いのちが、心からの笑い「イツハク」が生まれている！

サラは、彼らのやり取りを後ろの天幕の入り口で聞きながら、心の中で笑って(ツハク)言った。「*老いぼれてしまったこの私に、何の楽しみがあろう。それに主人も年寄りで。*」』(12節)　その時、彼らは言った。『「*なぜサラは、わたしは老人であるのに、どうして子を産む事ができようかと言って笑ったのか。主にとって不可能な事がありましょうか。来年の春(**エット・ハイ**)、定めの時に、わたしはあなたの所に帰ってきます。**そのときサラには男の子が生れているでしょう**」。サラは恐れたので、これを打ち消して言った、「わたしは笑いません」。主は言われた、「いや、あなたは笑いました」。*』(13-15節)　主は、いのちみなぎる若々しさや力を失って、気落ちしている神の民のところに、訪れて下さる。**旅人の姿をして**。主は私達の「いや、自分は笑わない」という否定的な思いを打ち消させ、反転させ、「いや、あなたは笑った」と、肯定して下さる。
聖書には、旅人をもてなした結果、大きな祝福を得た記述が多くある。　リベカは見ず知らずの旅人と、10頭の駱駝のために、井戸から水を汲んで飲ませた処、その相手は、彼女の将来の夫からの使いだった。ダビデは、一介の行き倒れをもてなした結果、その行き倒れは、妻子達を救うための重要なキーパーソンに"大化け"した。遊女ラハブも神の民の使者をもてなし、その「行い」によって義とされた(ヤコブ2:23-26)。

サラはこの出来事ゆえに、否応もなく信じるようになり、そして信じた結果、彼女の「女にある道」が、復活した！　もはやその年齢を過ぎていたのに、子をもうける力が戻ったばかりではない。他国の王から略奪される程の「美貌」も与えられ(20章)、そして約束どおり子が与えられ、乳で養う事ができた。そして彼女から多くの王たちが生まれるようになった。　いかに歳をとっていても、いかに子がいなくても、また子を養う力が萎え果てていても、主にあきらめないなら、主は卑下した笑いを、いのちの喜びに満ち満ちた、腹の底からの笑いに変えて下さる。主から遣わされた旅人をもてなし、主と出会う体験をして、腹の底からの笑いと、いのちの楽しみ、喜びがもたらされる私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 8 号　　2023 年 2 月 19 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp